

令和6年度 9月補正予算の内容

(一般会計補正予算 第3・4号)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 児童手当制度の拡充 | 8 福島駅東西通行に関する社会実験 |
| 2 学校施設リフレッシュ事業の推進 | 9 四季の里整備 |
| 3 放課後児童クラブの運営及び開設支援 | 10 信夫山公園開園150周年記念事業 |
| 4 スクールロイヤールの配置 | |
| 5 高齢者への公共交通利用助成 | |
| 6 ふくしまシティハーフマラソン2025開催 | |
| 7 再開発エリアの活用 | |

一般会計補正予算額

57億8,508万円

(単位 千円)

	事業費 合計	財源内訳				
		国	県	市債	その他	一般財源
補正第3号	133,735	28,587		80,300	8,848	16,000
補正第4号	5,651,349	758,491	146,189	299,800	52,800	4,394,069

【参考】令和6年度予算累計額(一般会計)

1,265億8,530万円

1 児童手当制度の拡充

補正額：760,400千円

全てのこども・子育て世帯を対象とする、ライフステージを通じた子育てに係る経済的支援の強化として、児童手当が令和6年10月分（令和6年12月支給分）から抜本的に拡充されます。

	拡充前(9月分まで)	拡充後(10月分から)
① 支給対象児童	中学生修了まで	高校生年代(18歳に達した年度末)まで
② 所得制限	あり	なし
③ 支給額(月額)	3歳未満：15,000円 3歳～小学生：第1・2子：10,000円 第3子以降：15,000円 中学生：10,000円	3歳未満 第1・2子：15,000円 第3子以降：30,000円 3歳以上～高校生年代 第1・2子：10,000円 第3子以降：30,000円
第3子以降のカウント	高校生年代のお子さんから年齢順にカウント	大学生年代のお子さんから年齢順にカウント
④ 支給月と回数	年3回(6・10・2月)	年6回(偶数月) 初回はR6.12

2 学校施設リフレッシュ事業の推進

補正額：600,000千円

学校の外壁から劣化したコンクリート片が落下する事案が発生したため、市立の全小中学校、幼稚園の緊急点検を実施しました。その結果を踏まえ、年度内に緊急修繕を実施するとともに、校舎の屋上防水や外壁改修などをさらにスピードアップして実施し、子どもたちの安全安心で快適な学習環境の整備を図ります。

緊急点検



緊急修繕



リフレッシュ事業



スピードアップ



実施箇所

小学校	43/43
中学校	18/19
幼稚園	10/10
今年度中に実施	



3 放課後児童クラブの運営及び開設支援

補正額：215,809千円

放課後児童クラブの安定的な運営を支援するとともに、4学区の児童受け入れ体制の強化が必要であることから、新たな放課後児童クラブの開設を支援し、待機児童の解消や、児童の安全安心な居場所づくり、保護者が家庭と仕事を両立し、安心して子育てできる環境整備を図ります。

◇放課後児童クラブ運営支援

市内96全クラブに対して放課後児童クラブの委託料を増額します

拡充イメージ(児童数36~45人 年間開所日数250日以上の場合)

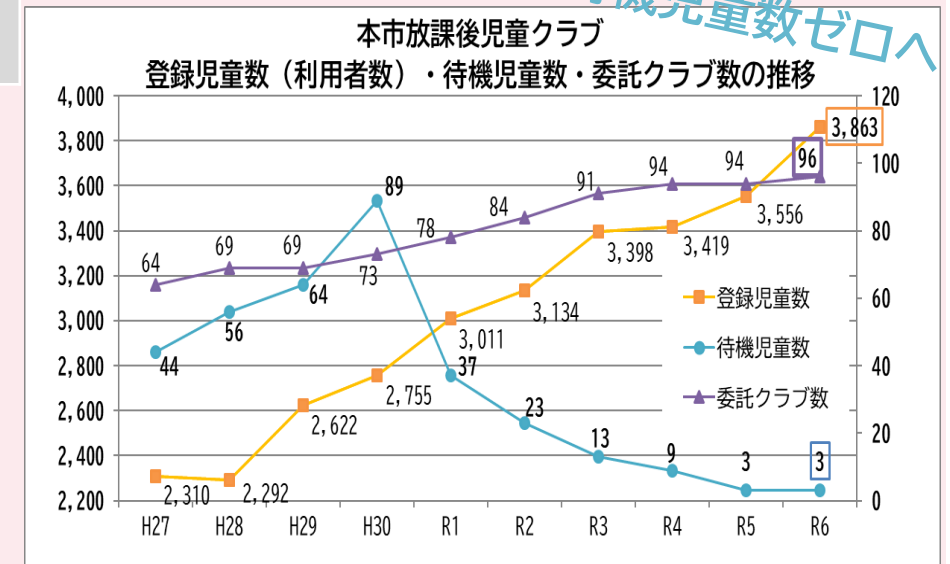
区分	補助要件	支援員	補助基準額	クラブ数
① 創設	常勤の放課後児童支援員を2名以上配置した場合		4,734千円 ⇒6,552千円	68/96 クラブ
② 現行	常勤・非常勤を問わず放課後児童支援員等を2名以上配置(2名中1名は補助員も可)		4,734千円 ⇒4,868千円	28/96 クラブ

さらに開所日数、長時間開所、障がい児受入推進などの加算部分についても補助基準額を増額。

◇放課後児童クラブ開設支援

学区	定員	備考
第三小学校区	+21	1クラブ閉鎖・開設
渡利小学校区	+40	1クラブ開設
大森小学校区	±0	1クラブ閉鎖・開設
野田小学校区	+40	1クラブ開設
	+101	2クラブ増

待機児童数ゼロへ



4 スクールロイヤーの配置（学校法律相談事業）

補正額：165千円

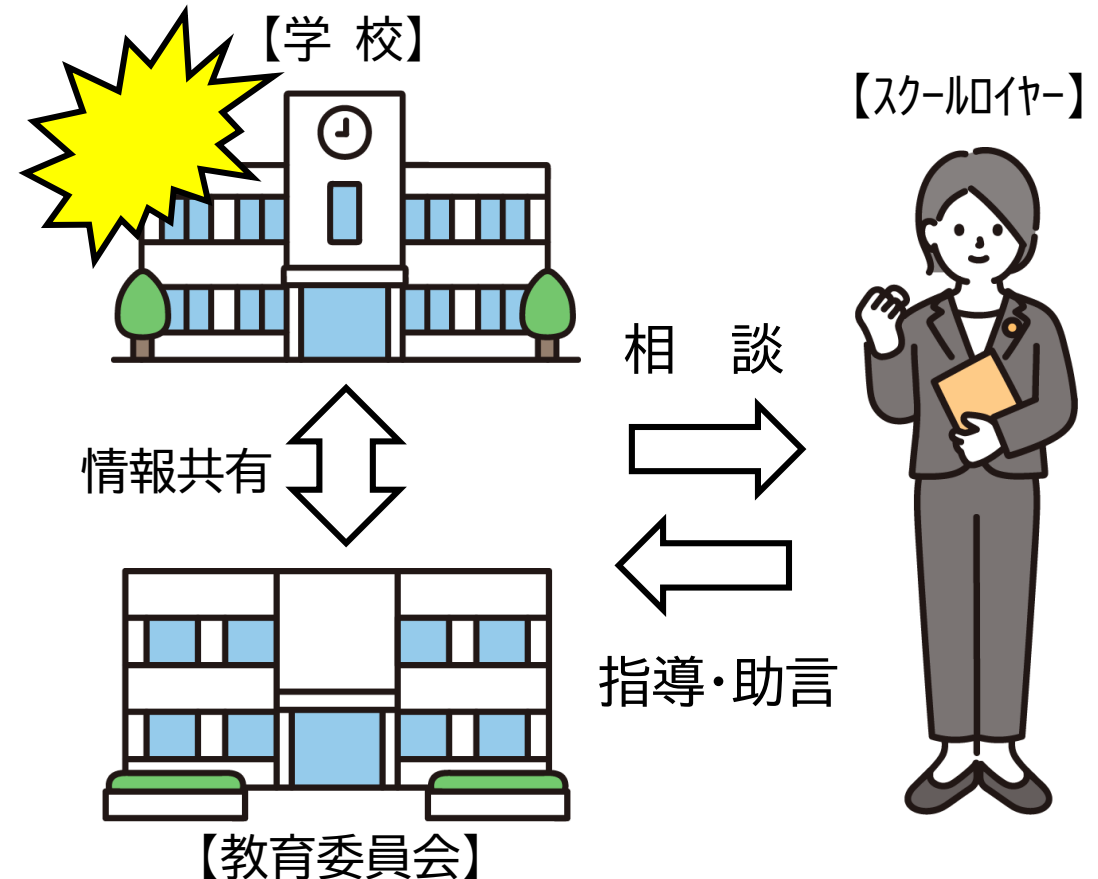
学校における児童生徒のいじめや虐待問題など、複雑化した諸課題への早急な対応と迅速な解決を目指します。

(1) 想定される内容

- ・ いじめへの対応
- ・ 児童生徒の問題行動などへの対応
- ・ 学校事故に関する対応
- ・ 学校、教員への過剰な要求に関する対応

(2) 期待される効果

- ・ 安全・安心な学びの場の提供
- ・ トラブルの未然防止
- ・ 問題が深刻化する前の早期対応、早期解決
- ・ 学校の支援体制の充実



5 高齢者への公共交通利用助成

債務負担行為

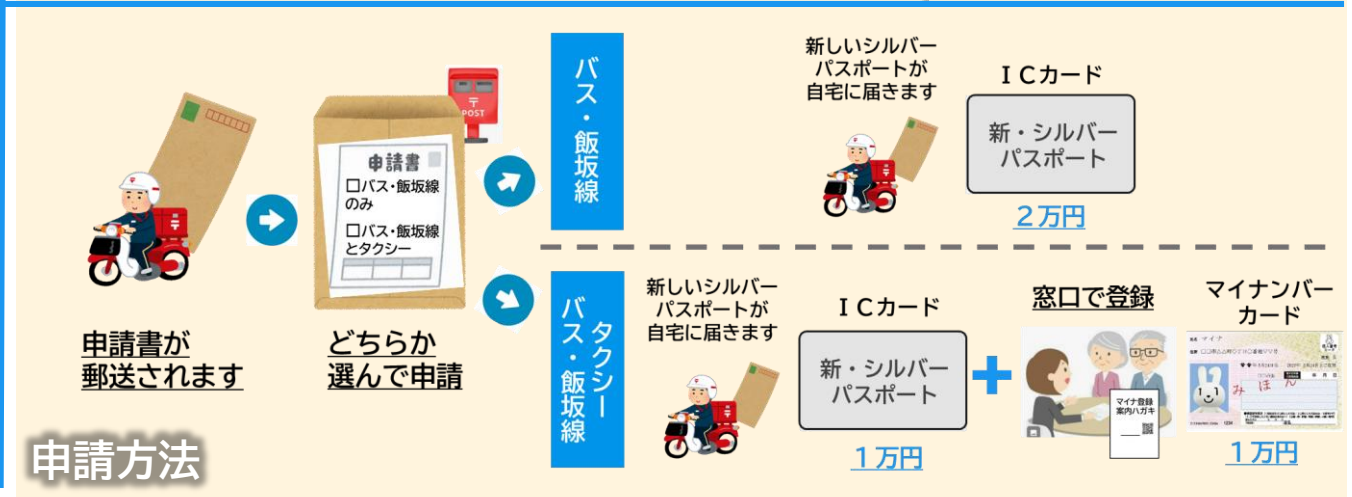
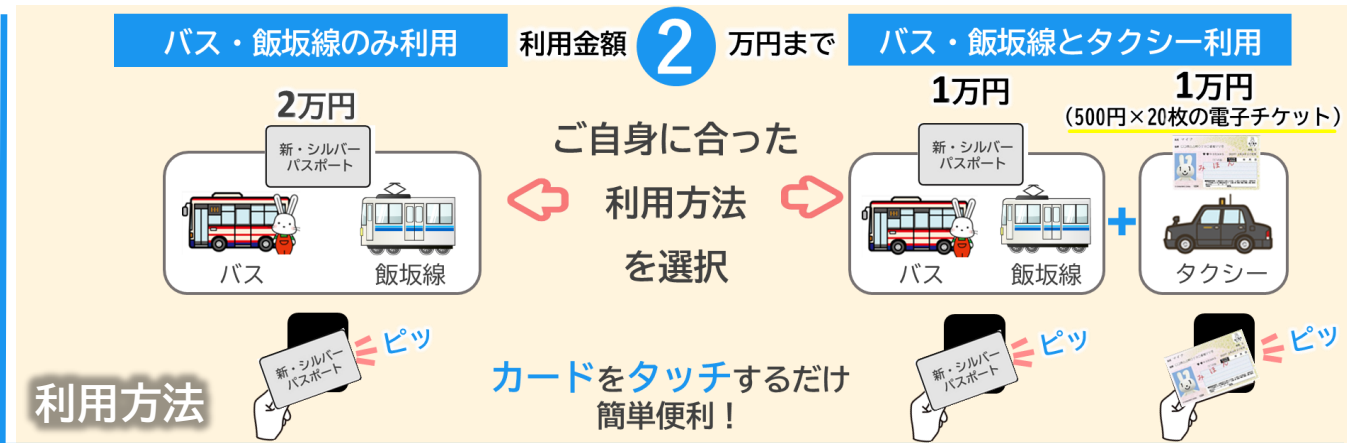
高齢者の積極的な社会参加と公共交通の利用促進を目的に実施してきたシルバーパスポート事業は、令和7年度からより多くの方に利用しやすく、持続可能な制度に生まれ変わります。

新制度のポイント

- ・ **タクシーを追加**し、市内全域で利用しやすい制度に
- ・ どちらの利用方法でも、等しく上限額**2万円**（年額）を設定
- ・ タクシーを利用される方は、バス・飯坂線と併用で**1万円**ずつとし、公共交通全体の持続性に配慮

スケジュール

9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月	4月
◆申請書郵送開始							
	◆タクシー選択者へ登録窓口案内はがき送付開始						
		タクシー選択者用 マイナカード登録窓口開設（本庁・6支所）					
							新制度開始
							新シルバーパスポート郵送 ◆



6 ふくしまシティハーフマラソン2025開催

債務負担行為：55,000千円

オールふくしまの力を結集した手厚いおもてなしで福島の魅力を発信！
さらにブラッシュアップをかけた第3回大会開催に向け始動します。

ランネット
ハーフマラソン第3位！
2024開催大会レポ

■開催日／令和7年5月18日（日）

■会場／誠電社WINDYスタジアム
（信夫ヶ丘競技場）

■競技種目／ハーフマラソン
※（公財）日本陸上競技連盟公認コース
10km、親子ペア、車いす

■参加定員／5,000人程度

■参加料金／ハーフマラソン
7,000円ほか

※競技種目等は変更になる場合があります。



On Your Marks ~未来へ走れ、ふくしま~

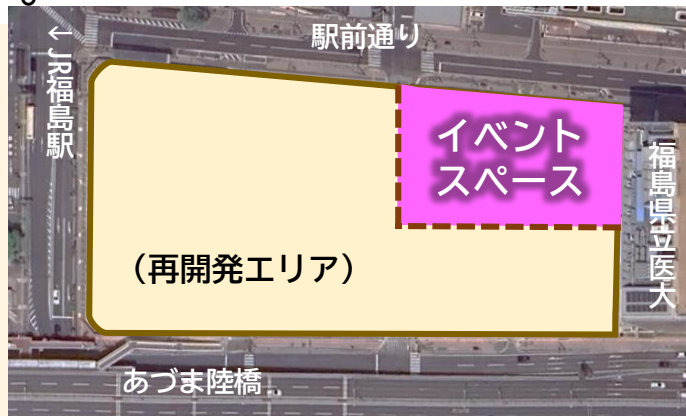


7 再開発エリアの活用

補正額：16,000千円

再開発エリアを工事着手までの暫定期間、イベントなどで活用できるように、仮囲いを一部移設してスペースを確保します。

- ・場所 再開発エリアの駅前通りに面する東側（約3,000㎡）



- ・期間 R6. 10月からR8. 2月頃（建築工事着工）まで



8 福島駅東西通行に関する社会実験

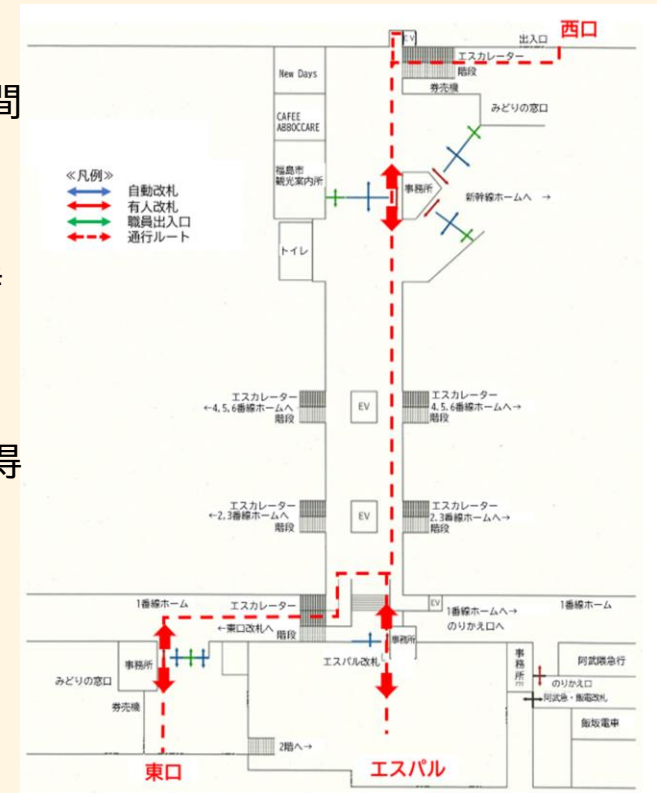
補正額：5,800千円

JR東日本と連携し、福島駅東西通行に関する社会実験を福島駅構内在来線コンコースで行います。

- ・実施期間 R6. 11月～12月のうち1か月間
※準備ができ次第実施

- ・通行時間 9時～21時
※エスパル改札口 10時～20時

- ・通行方法
 - ① 『TOHOKU MaaS』のWEBサイトでQRコード取得
 - ② QRコードを出入口の端末で読取



9 四季の里整備

補正額：125,000千円

あづま山麓エリアの拠点として、リニューアルを進める四季の里において、駐車場の拡張を行い、利用者のサービス向上を図ります。

駐車場拡張予定地



○用地面積 5,200㎡

○駐車台数 170台

内訳	普通車	150台
	軽自動車	17台
	おもいやり	3台

※既存駐車場駐車可能台数
248台

令和7年春 供用開始予定



10 信夫山公園開園150周年記念事業

補正額：11,500千円

次の50年先を見据え、信夫山に由来する健脚文化の定着につながるよう公園内の散策環境の充実を図ります。

